

---

# 魔法少女リリカルなのは～融合せし平行世界の未来～

ラハール

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

魔法少女リリカルなのは〜融合せし平行世界の未来〜

### 【Nコード】

N7215X

### 【作者名】

ラハール

### 【あらすじ】

ほぼ無限にある平行世界・・・4つの世界が融合したときなにが起きる

この小説はデステイニープラン様のヴァルクと時の秒針様のハクとうちの佐助が主人公のコラボ小説です

平行世界の核の崩壊（前書き）

ラハール「さて始めました」

佐助「無謀なことをな」

ヴァルク「良いじゃないですか」

ラハール「だよね」

佐助「ウザいぞ」

ハク「俺は結構嬉しいぞ佐助とヴァルクと一緒に戦えるし」

ヴァルク「そうですね」

佐助「だな」

ラハール「始めます」

## 平行世界の核の崩壊

ここは魔法少女リリカルなのはの平行世界を均等に保つ核があるリリなのの平行世界の中心、これによって数あるリリなのの並行世界は

均等を平和を保っているそして今この中心を守っている番人の名は猿飛佐助、彼もあるリリなのの世界の住人の1人である彼が番人に選ばれたのは理由は2つ

1つは彼の力アバター憑神は神にも匹敵する力があるから2つ目はここを元々守っていた王である蒼炎王・アグニウムと白炎王・ウルカヌスの力の象徴蒼炎と白炎が使えるのが大きい

佐助「今日も以上はなさそうだな」

カイト『そうだね』

佐助のデバイスであるカイトが応える

佐助「問題ないなら帰ってThe Worldでもやりますか」

ビービービー、佐助がそう言ったとたん警報が鳴る

佐助「カイトセットアップだ」

カイト『了解』

佐助はセットアップする、その姿はhack//のカイトXthの姿を想像してくれると分かりやすい

佐助「さて侵入者退治と行きますか!！」

終焉の死を与える影を担ぎ急ぐ、終焉の死を与える影は万死ヲ刻ム影をもつと禍々しく深紅にした感じ

佐助が着いた頃には警備ロボットがあつたはずなのにそれが塵も残さずになくなっていたそして真ん中に右翼を悪魔の羽左翼を六枚に分けられた天使の羽にした白髪をロングにした男がいた

???「この程度か・・・」

佐助「テメエなにもんだ?」

警戒し殺気を出しながら言う

???「そちらから名乗るのが礼儀ではないかな」

佐助「そうだな、俺は猿飛佐助だ」

???「マーラテトラ、天魔王神・マーラテトラだ」

その名を言った瞬間膨大な殺気が出てきたそれを受けた佐助はゾクツとした

佐助「そうか・・・始めようかマーラテトラ!！」

マーラ「ふむ、来るがいい」

佐助は終焉の死を与える影で斬るそれをマールは右手の剣で受け止め左手で掌底てんていを放つがそれを佐助は自分から後ろに飛んでダメージを無くす

マール「なるほど・・・本気を全力を出しても良いようだな」

空間がマールの開放された魔力により振動する

佐助「出し惜しみは出来そうにないようだな」

カイト『そうだね、八相全ての力も使わなきゃ厳しいよ』

佐助も自分のリミッターを外し八相からも力を借りるそして武器を薄明の双剣に変えるそして佐助の身を蒼白の炎が包む  
これは蒼炎と白炎を同時に使った状態

マール「行くぞ、貴様が感じるわ天魔王神の絶対なる恐怖だ」

佐助「なら来い、テメエに刻んでやるよ終焉の死をなあ！！」

2人は超々高速の斬り合いをしだす、マールが斬ってくるなら高速で後ろを取り斬るそれをマールがかわし今度はマールが佐助の後ろを取って斬る当たりそうな攻撃は受け流したり受け止めたりそれを仮面ライダーカトのクロツ アップより速く動き繰り返し返している

マール「インフィニティフリーズ（無限の氷結）」

佐助を足元から凍らせようとするが

佐助「そんなもん効くかよ!!」

蒼白の炎によって一瞬で溶かされる

マール「天魔雷界」

マールの上空に魔方陣が展開されるそして白い雷が佐助を狙って何回も落ちる

佐助「チッ」

それを回避した場所にマールテトラは居た

マール「くらえ猿飛佐助」

その一撃は空間を粉碎させる一撃だった、それを佐助は魔力を薄明の双剣に一転集中させてギリギリガードとするが奥の方までフツ飛ばさせる

流星にとっさの判断でのガードだったので佐助はボロボロのハズだが

佐助「結構効いたぜマールテトラ」

所々キズはあるがボロボロではなかった

マール「どうゆうことだ？」

佐助「なにメイガスの力で最大限まで細胞を増殖しただけだよ」

マール「ほお」

佐助「今度はこっちの番だ！！蒼白の焰球！！」

蒼白の焰球は高速でマールはかわし佐助に高速で近づき斬るがそれは霧のように消える

佐助「それは幻覚だよ・・・くらえ！！十二爪炎残痕！！」

蒼白の炎を纏った薄明の双剣で三爪炎痕を高速で四回おこなうようなもの

マール「クッ！」

マールテトラは受けるだが致命傷は全てうまく避けていた

佐助「・・・」

油断なく構える佐助

マール「ククク・・・クハハハハ！！久しぶりだこんな強敵に出会えたのわ  
だがこれで終わらせてもらう」

マールテトラの周りが歪む

佐助「俺も決めさせてもらうぞ」

佐助は蒼白の炎を纏め巨大な炎の玉にする

マール「全てを混沌に包み込めカオスインフェルノ！」



マールテトラを中心に空間が歪み全てを空間ごと押し潰していく

佐助「蒼白の炎よ希望をしめし終焉を見せろお！！蒼白炎・フレイムインパクト！！」

佐助は超巨大な蒼白の炎の玉を上から投げつけるそれがカオスインフェルノとぶつかり合う

マール・佐助「はあああああああ！！」

2人の全力の攻撃により超新星爆発が起きるそれによって2人はボロボロの状態である

マール「くっ・・・いいのか？ここに来ているのは私だけではないぞ」

佐助「なっ！本当か？」

マール「ああ、今頃は壊されてるだろう」

そうマールテトラが言った瞬間眩い光が起きる・・・そして空間が消滅始める

佐助「世界を無茶苦茶にさせるかよ！！スケイス！イニス！メイガス！フィドヘル！ゴレ！マハ！タルヴォス！コルベニク！平行世界の破壊を食い止めてくれ！！」

八相達が別々の場所に向かいすぐに消滅が収める

マール「また合うだろう猿飛佐助」

マールテトラは転送して消える

カイト『大変だよ佐助、四つのリリなのの世界が融合をして1つの世界が生まれちゃったよ』

佐助「どこか分かるか？」

カイト『ヴァルクの居る世界とハクの居る世界と元々佐助の居た世界そして原作にもっとも近い魔法少女リリカルなのはの世界そして世界の根本的元の部分は原作にもっとも近い世界だからなのは達は佐助やヴァルク・ハクのことには知らないだろうね』

佐助「・・・今すぐ向かうぞ、この事をヴァルク達にも伝えなきゃいけないだろうからな」

カイト『了解』

佐助は傷だらけでポロボロの状態ですぐに転送して向かった

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7215x/>

---

魔法少女リリカルなのは～融合せし平行世界の未来～

2011年10月19日02時09分発行